



2014~2015

# KAWANOE WEEKLY

H. 26. 8. 19

No. 8



プラハにて 油彩 谷 晶子



## ロータリーに輝きを

2014~2015年度国際ロータリー会長  
ゲイリー C.K. ホアン

- 会 長 佐々木 敬史
- 幹 事 宮内 哲也
- 会報委員長 三木 秀二
- 例 会 日 毎週火曜日  
12:10~13:10
- 例 会 場 四国中央商工会議所  
電 話 58-3530  
F A X 58-6294
- 事 務 局 四国中央商工会議所  
電 話 58-3530

## 大学時代の恩師大澤先生十段昇段によせて

大 平 学

大澤先生！十段昇段お目出とうございます。心から御祝い申しあげます。「十段」と一言で言ってしまうえば簡単に取れるように聞こえますが、並大抵の事では取れません。年月をただ長く経ていけば「十段」になれるものでもありません。柔道の段位は現役の時に試合成績が良かっただけで取れるものではないのは関係者の皆様は御存知の事でしょう。柔道に対する功績—人格等全てが満たされていなければなりません。このような事からいかに十段に昇段するのが難しいか理解してもらえた事と思います

大澤先生は柔道を修業し始めた頃から身体は大きくありませんでした。なおかつ、当時は全ての試合が体重無差別でありましたので、先生は、自分より小さな相手と試合をした事が少なかったはずで、七段に昇格されたのはいつの頃か記す事ありませんが、おそらくスピード昇段された事でしょう。私が大学に入った頃はすでに先生は八段になられていました。皆様の年令と段位を合わせてみれば、大澤先生のスピード昇段がお分かりにな

みどりと自然を大切に

と思います。私たちが学生の頃先生は身体の小さな私達に「俺はお前達の頃はもっと小さかった。身体の大小は関係ない」と勇気づけてくれました。「大きな身体の相手に勝つには、スピードだ、相手の倍稽古するしか方法はない」とよく言われ、先生が現役の時から実践して来られた事を教えられました。実際大学に入るまで指導者がいなかった私は先生の投技、特に足技で何回となく投げられました。あの送足払は、来るのが分かっているが投げられたものです。「昭和の牛若丸」といわれた大澤先生の投技、透し技全てが素晴らしい技でありました。これぞ柔道と言ってよいと強く感じました。技を掛けられると、受身を取らざるをえないように投げられました。私はそのような自分の体験から、柔道は受身が上手になれば進歩が速いと言われているのはこのような事なのだと思います。指導者がただ言葉で、受身が上手になれば上達が速くなると説明しても理解してもらえない。それと近頃、大澤先生のような技の切れる柔道家がいないのも原因の一つではないでしょうか。「持手だ、引手を切れ」とか余計な部分に気を使い、各技を基本的・理論的に指導していない、審判法の改訂も関係があるかもしれませんが、とにかく、そのように大澤先生の技は文句のつけようがありません。私は先生との関係で柔道高段者の先生方と親しくさせてもらっております。そして、私は大澤先生の弟子と自認しておりますが、高段者の先生方が「俺はあいつ（大澤）には負けた」、「俺は大澤に負けるまで、本当に心から負けたと思った事はない」等、直接聞いたり長老から伝え聞いたりします。「袖釣でぶち投げられた」、「払腰で投げられた」、「送足払で投げられ頭から落ちた」、「内股で投げたと思ったら透かされた」、このような会話を聞くたびに、内心うれしくなり、やはり大澤先生は素晴らしい技の持主であったのだと誇りに思いました。私の大学に松本安市先生（八段、戦後第一回全日本柔道選手権大会優勝）」がおられました。その松本先生も「俺が試合をして負けたと感じたのは大澤だけだ」と言っておられました。松本先生いわく「大外刈を掛けていったと思って気がついてみたら俺が投げられていた」と、…このような試合戦歴が沢山ある大澤先生、早稲田の中から、大澤先生のような素晴らしい技を継承する者を是非育てて下さい。お願いします。そしていつまでもお元気で。あらためて、「十段」御昇段誠にお目出とうございました。

# 第2572回 例会記録 H. 26. 8. 12

## 出席報告

1. 出席会員 (57名中) 41名
  2. 出席免除 2名
  3. 当日出席率 74. 55%
  4. 前々回補足修正率 96. 36%
- (メーカーキャップ会員)  
鈴木謙 会員  
(8/7 観音寺RC)

## 会長の時間

- ・夫婦間のコミュニケーションについてetc.

## 委員長の時間

- ・出席報告 高原 達也 会員

## 会務報告

1. 今治ロータリークラブ  
創立80周年記念式典のご案内
2. 2013-2014年度 国際ロータリー第2670地区  
第28回ローターアクト地区大会の御礼  
と大会資料送付のご案内
3. 公益財団法人 米山梅吉記念館  
米山梅吉記念館 館報 2014年秋号
4. 2014年8月 近隣クラブ例会のお知らせ  
(出席委員会)

## ニコニコニュース

佐々木…昨夜の満月の光を浴びながら、盃を傾けることが久しぶりに出来ましたので。

石村榮…私の日頃の行いのせいではないと思いますが、台風のため第1回のゴルフコンペが中止になりました。次回は9月です。三好さんのエージシュート達成記念コンペ共々、よろしく願い致します。

寺井…今日は、私のお誕生日です。会員誕生祝をいただき、同時にニコニコのお願いもいただきました。ありがとうございます。

内田敏…Bテーブル、全員出席です。

## 卓話 (情報委員会 担当)

『稲盛和夫氏の公開フォーラム IN 愛媛での講演会を聞いて』

「人は何のために生きるのか」を考える』

石原 絃一 会員

## 近隣RCの例会日

8月21日(木) 新居浜RC  
(リーガ新居浜)

8月21日(木) 観音寺RC  
(観音寺商工会議所)

8月22日(金) 伊予三島RC  
(三島商工会館4F)

8月26日(火) 観音寺東RC  
(観音寺グランドホテル)

8月26日(火) 新居浜南RC  
(リーガ新居浜)

## 例会プログラム

8月26日(火)  
(国際奉仕委員会 担当)  
定例理事会